



唐津もんだより

★バックナンバー★

※平成20年4月より行政支所の電話番号が変更になっておりますので、バックナンバーの問い合わせ先にはご注意ください。

[第69号](#) [第68号](#) [第67号](#) [第66号](#) [第65号](#) [第64号](#) [第70号](#)
[第62号](#) [第61号](#) [第60号](#) [第59号](#) [第58号](#) [第57号](#) [第56号](#)

平成24年5月7日

■第67号■

発行：社団法人唐津観光協会



新緑の早苗が広がる、唐津市肥前町の「大浦の棚田」(5月中旬頃の風景)

佐賀県唐津観光協会が発行するニュースレター「唐津もんだより」第67号です。
唐津市のイベント・観光情報をお届けします。

【INDEX】

特集：相知町の仏教文化を訪ねる

■弘法大師に由来する58体の磨崖仏 ～ 鶴殿石仏群(うどのせきぶつぐん) ～

■800年以上の悠久の歴史を刻んだ磨崖仏・三尊

～ 立石観音(たついしかんのん) ～

■無数の仏や菩薩が鎮座する霊場 ～ 五百羅漢 ～

■食べると力が湧いてきそう！！四天王守護神をかたどった「石仏最中」

■心まで温まる ～ おうち温泉 天徳の湯 ～

■ココでしか買えないモノや 地域の新鮮な農産物をお手頃価格で

～ 逢地(おうち)の里直販所 ～

見所・イベント予告

■町の想いを大綱に託して！「呼子大綱引」

■おいしい空気と大自然を満喫！リフレッシュウォーク！！

～ 第15回いろは島棚田ウォーク～

■ATAだより

・～ 修学旅行生の体験民泊受入中です ～

■唐津焼ものがたり

・第38回

～ その⑮ 岸岳の土にこだわり受け継がれてきた窯
「岸岳窯三帰庵」(きしだけがまさんきあん) ～

■食べごろ唐津、美味旬彩(13)

・天然ラドンと豊富なミネラルを含んだまろやかでおいしい自然の水
～ ななやまの天然水 ～

■唐ワンくん日誌(32)

・～ 唐ワンくんの情報源は唐ワンくんホームページ ～
・唐ワンくんおすすめ情報
～ 「唐津城で唐ワンくん」まいど(毎土) ～

唐津よもやま話

■唐津に嫁いだ若嫁日記(8)

・～ 唐津城から見える景色～と、その戯言…

■JR唐津駅のガード下屋台めぐり(5)

・旬の魚介を美味しく楽しめる屋台「つや」

特集:相知町の仏教文化を訪ねる

■弘法大師に由来する58体の磨崖仏 ～ 鵜殿石仏群(うどのせきぶつぐん) ～



相知町天徳にある「鵜殿石仏群」は岩壁に彫刻された磨崖仏群です。

文禄3年(605年)に書かれた「鵜殿山平等寺略縁起」によると、弘法大師空海が、文禄元年(603年)に唐(中国)で密教を学んで帰国した際にこの地に立ち寄り、「漢土の靈窟にも劣るまじき法地なり」として、観音、弥陀、釈迦の三尊を刻んだのが始まりとされています。この三尊は現存しておらず、伝説の真偽は不明となっています。

石仏が刻まれた頃、この地は大きな洞窟であり、天長年間(830年代)に洞窟内に「平等寺」が建立され、真言密教の信仰の場となりました。しかし、天文年間(1540年代)の佐賀の龍造寺との戦いによって灰となり、その後天井も崩壊し、当時の面影はありません。今見ることができるのは、奥の壁面に刻まれていた仏像です。

現在の鵜殿石仏群では、南北朝時代のものとされる大日



如来、多聞天、不動明王、十一面観世音、持国天をはじめ、58体の石仏が確認されています。時代の流れにより風化されてはいるものの、美しい岩肌の色、繊細に刻まれた磨崖仏を眼に焼き付けることができます。

小鳥の鳴き声が響き渡る、緑に囲まれた「鵜殿石仏群」を訪れ、日々の喧騒を忘れて悠久の時に思いを馳せてください。

※「鵜殿石仏群」までは階段を歩きます。また、環境調査により立ち入りできない場所があります。ご注意ください。

【地図】 <http://yahoo.jp/aKU9nM>

【住所】 唐津市相知町相知2580

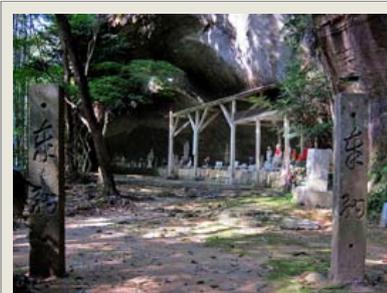
【お問合せ】 社団法人唐津観光協会 相知支所
TEL:0955(51)8312



■ 800年以上の悠久の歴史を刻んだ磨崖仏・三尊 ～ 立石観音(たついしかんのん) ～



竹林に囲まれ昼でも薄暗い小道を通る“米の山”の西側岩壁に位置する立石観音



立石観音は、地上10mほどの棚地の切り立った岸壁下部の洞窟を仏龕に見たてて彫られている。



手前から薬師如来・阿弥陀如来・十一面観音が祀られている。

立石観音は、竹林に囲まれ昼でも薄暗い小道を通る“米の山”の西側岩壁・地上10mほどの棚地に位置し、かつては“仏岩”と呼ばれていました。

切り立った岸壁下部の洞窟を仏龕(仏像などを安置しておく厨子)に見たて、向かって右から十一面観音・阿弥陀如来・薬師如来が祀られています。この像は今から約800年ほど前の平安時代末期に、修験者などによって彫られたと考えられています。



ひと回り大きく他の2像とは



堂々として落ちつきがあ



肩に髪を垂らし胸前で合

別の作者で、制作年代も少し新しい薬師如来。

り、両手を腹の前に組んで静かに膜想する姿で蓮台に座っている阿弥陀如来。

掌する姿の千手観音像だと考えられている十一面観音。

右端の十一面観音は、肩に髪を垂らし胸前で合掌する姿の千手観音像だと考えられています。

通常、千手観音は、たくさんの腕を持っていますがこの像には2本の腕しかありません。他の2像と比べて風化や磨耗が著しく、かつては色彩で千手が描かれていたのでしょうか？

中央の阿弥陀如来像は、堂々として落ちつきがあり、両手を腹の前に組んで静かに膜想する姿で蓮台に座っています。

大きさも隣の十一面観音とバランスをとって彫られており同時期に制作されたものと考えられています。

左端の薬師如来像は、ひと回り大きく身体のバランスが不自然に見えます。他の2像とは別の作者で制作年代も少し新しいようです。

仏教が日本に伝えられるとそれ以前から存在した名山・高山などの山や、巨大な岩・石塊などを崇める信仰が一体化し、立石の巨大な岩も修行の格好の場であったと思われます。

(参考文献・相知の文化財)

【地図】 <http://yahoo.jp/pzrkjt>

【住所】 唐津市相知町相知855-1

【お問合せ】 社団法人唐津観光協会 相知支所
TEL:0955(51)8312



■ 無数の仏や菩薩が鎮座する霊場 ～ 五百羅漢 ～



十六羅漢を造り祭ったことがはじまりといわれ、江戸後期から現代まで多くの仏や菩薩の造立が相次ぎ、「五百羅漢」とまで称されるようになった。

「日本の棚田百選」や「重要文化的景観」に指定されている「蕨野の棚田」。

この蕨野の木々に覆われた場所に鎮座する「五百羅漢」は、相知町史跡に指定されている石仏群です。伝承では、寛政元年(1789年)、土地の居石伝左衛門の夢枕に弘法大師が立たれ「十六羅漢を建立し国土繁栄と領民の幸福を祈るように」とのお告げがあったそうです。そこで石工、平川与四工門に頼み、十六羅漢を造り祭ったことがはじまりといわれています。その後、江戸後期から現代まで多くの仏や菩薩の造立が相次ぎ、岩の上や岩陰にまで奉祀されて一大石仏群を形成しました。こうした信仰の高まりによる石仏数の拡大により、十六羅漢の枠を越え「五百羅漢」とまで称されるようになりました。「羅漢」とは禅の思想が生んだ理想的な人間のことで、道元和尚は「山も川も草木も鳥獣も全て自然の清浄心であり、溪流の声は仏教の真理を語る。」と語ったといえます。豊かな自然が現代に残る蕨野の「五百羅漢」は、禅の心に添う最高の場所に祀られています。

(参考文献・相知の文化財)

【地図】 <http://yahoo.jp/kyK-4A>

【住所】 唐津市相知町平山上1363-10

【お問合せ】 社団法人唐津観光協会 相知支所
TEL:0955(51)8312



蕨野の木々に覆われた場所に鎮座する



「日本の棚田百選」や「重要文化的景観」に指定されている「蕨野の棚田」



■ 食べると力が湧いてきそう！！四天王守護神をかたどった「石仏最中」



右 多聞天 左 持国天



上質のつぶ餡がたっぷり

唐津市相知町の銘菓に石仏最中があります。
考案されたのは昭和40年頃で、相知らしいお土産を作ろうと地元の史跡「鶴殿石仏群(佐賀県指定史跡)」をかたどったもので相知町の老舗「宝来堂」と「昭月堂」で製造販売をしています。

「宝来堂」では「持国天」をかたどった最中を販売、大正7年創業という老舗、現在3代目と4代目が北海道産大納言を使用する等、材料にこだわり昔ながらの味を大切に守り続けている最中です。

「昭月堂」では「多聞天(毘沙門天)」をかたどった最中を販売、彩り豊かな洋菓子が豊富に並ぶ店内ですが、昔ながらの味を守り北海道産の上質小豆のうま味を引き立てた、ほっとする昔ながらの味の最中です。

どちらも程よい甘さのつぶ餡で、香ばしい最中生地との相性はとても良く素材本来の味を堪能できます。
最中をひとつち頂きお茶をひとつち、口の中で程よい甘味とお茶のうま味が相まって至福の一時が楽しめました、日本に生まれてよかったなと思えるお菓子でした。
また、味だけではなく四天王の一員の守護神をかたどった最中をいただくと、なんだか力が湧き出てくるような気がしました。
地方発送もできるそうですので、各店舗へ直接お問合せ下さい。



宝来堂 持国天もなか箱入り



昭月堂 多聞天もなか箱入り



宝来堂 銘菓の箱詰め



昭月堂和菓子コーナー

《鵜殿石仏「宝来堂菓子舗」(持国天の最中)》

【住所】 唐津市相知町相知2143

【電話】 0955-62-2050

【営業時間】 8:00～20:00

【店休日】 不定休

【価格】 1個 137円

10個入り 1,540円

20個入り 2,970円

30個入り 4,360円

42個入り 6,070円



宝来堂 店舗

《多聞天石仏もなか「昭月堂」(多聞天の最中)》

【住所】 唐津市相知町相知2082-19

【電話】 0955-62-2601

【営業時間】 9:30～19:30

【店休日】 月曜日

【価格】 1個 136円

9個入り 1,360円

15個入り 2,303円

20個入り 2,983円

30個入り 4,395円



昭月堂のオシャレな店舗



■ 心まで温まる ～ おうち温泉 天徳の湯 ～



自然豊かな相知町にある天徳の丘に建つ
「おうち温泉 天徳の湯」



ジェットバスも楽しめる「大浴場」

自然豊かな佐賀県唐津市相知町にある天徳の丘に建つ「おうち温泉 天徳の湯」。

ジェットバスも楽しめる大浴場や、鳥のさえずりを聞けて作礼山や八幡岳の美しい景観を見ながらゆったりとした時間を過ごせる露天風呂、美肌効果のある緑茶風呂、疲れた体を癒してくれるサウナなど、いろいろなタイプのお風呂があり疲れた体を癒してくれます。

また広々とした大広間があるのでお風呂上がりにゆっくりとした時間が過ごせます。思い出作りに是非一度「おうち温泉 天徳の湯」に行かれてみてはいかがでしょうか？

《おうち温泉 天徳の湯》

【住所】 相知町相知2579-1

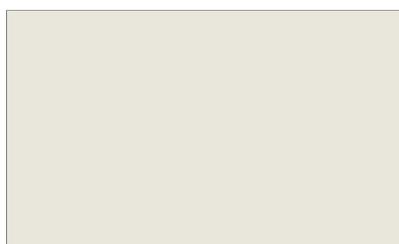
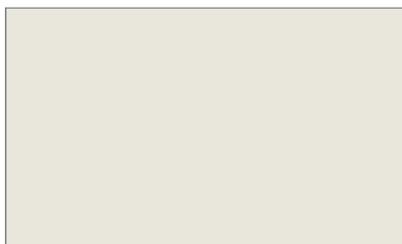
【TEL】 0955-62-4355

【営業時間】 10:00～21:00

【入浴料金】 唐津市内在住者 大人300円 子供200円

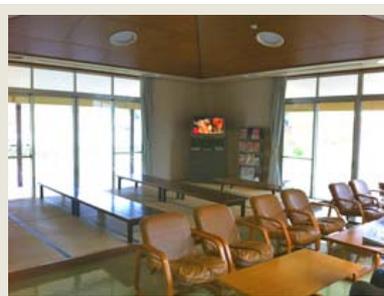
唐津市外在住者 大人500円 子供300円

乳幼児(3歳以下)無料





ゆったりとした時間を過ごせる「露天風呂」



お風呂上がりにゆっくりとした時間が過ごせる「大広間」



■ ココでしか買えないモノや 地域の新鮮な農産物をお手頃価格で
～ 逢地(おうち)の里直販所 ～



相知・巖木地区の組合員が作る農産物を主に販売する「逢地の里直販所」



1片が普通のんにく1個分程もあるジャンボんにく230円(200g)



ジャンボんにんにくを加工した食べるラー油・唐～油400円と黒にんにく525円

JAからつ「逢地の里直販所」は、相知・巖木(おうち・きゅうらぎ)地区の組合員が作る農産物を主に販売しています。商品は、生産者が直接納め生産者が決めた値段で販売されるのでとても新鮮でお得です。これからの季節には、ほうれん草・小ネギ・大根・豆類等の野菜やいちご・スモモ等の果物が店頭に並びます。珍しいのは、普通のんにんにくの5倍以上の大きさ“ジャンボんにんにく”とその加工品の“食べるラー油・唐～油”等。特に、ジャンボんにんにくを1ヶ月間じっくり熟成させた健康食品“黒にんにく”は、酵素の働きでんにんにく特有の匂いも無くフルーツのような味がしてお薦めです。他にも、柔らかく食べやすいコラーゲンたっぷりの豚足や店内で手作りされる、できたての黒糖饅頭も人気の商品です。また、相知の特産品で東洋のレモンと呼ばれる“すだち”を加工したポン酢やコンニャク、全国食味ランキングで2年連続で特Aに選ばれたお米“さがびより”や地元の“棚田米”を取り扱っています。



柔らかく食べやすいコラーゲンたっぷりの豚足283円(上)350円(下・真空パック)

仏像巡りの帰りには、是非お立ち寄りください。

【住所】唐津市相知町相知3182-5

【営業時間】8:00～18:00(定休日・毎月第3水曜日)

【駐車場】22台(バス2台)

【お問合せ】逢地の里直販所 0955(51)8131



すだちを加工したポン酢420円～と
コンニャク420円(左・刺身用)210円(右)



店内で手作りされる
できたての黒糖饅頭360円



全国食味ランキングで2年連続で特Aに選ばれた“さがびより”2,800円(5kg)と“棚田米”3,150円(5kg)



見所・イベント予告

■ 町の想いを大綱に託して！「呼子大綱引」



400年以上の変わらぬ思いが、
一本の大綱に込められる伝統の戦い
「呼子大綱引」

400年以上の変わらぬ思いが、一本の大綱に込められる伝統の戦い「呼子大綱引」。その伝統は今も熱き呼子の血潮として脈々と受け継がれています。

今年も「呼子大綱引」が、6月2日(土)3日(日)の2日間、唐津市呼子町で開催されます。

「呼子大綱引」の始まりは、今から410年ほど前の豊臣秀吉が文禄・慶長の役で名護屋城(現在の唐津市鎮西町)に陣を構えていた頃、兵の士気を高めるために加藤清正と福島正則の陣営を東西に分け、軍船のとも綱を使って綱引きをさせたのが始まりといわれています。

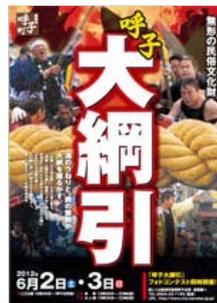
呼子の町を岡組と浜組に分け、ドラと火矢を合図に直径15cm、長さ400mの大綱を引き合います。

岡組が勝った年は豊作、浜組が勝った年は大漁になるといわれています。見物客も飛び入りで参加できることもあって毎年大勢の観光客で賑わいます。

【日時】 平成24年6月2日(土)13:30～ 子供綱(呼子支所前)
3日(日)12:30～ 神事(三神社前)
13:30～ 大人綱(三神社前)

【開催場所】 唐津市呼子町 呼子大綱引通り
※フォトコンテスト同時開催

【お問合せ】 唐津市呼子支所



[詳細・・・\(PDF\)](#)



■ **おいしい空気と大自然を満喫！リフレッシュウォーク！！**
 ～第15回いろは島棚田ウォーク～

波静かな大小の島々が作り出すいろは島と、日本の棚田百選に選定されている大浦の棚田をバックに“第15回いろは島棚田ウォーク”が開催されます。

お申込み方法は、はがき・FAX・Eメールで、代表者と参加者の住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、5月15日まで事務局まで申し込みください。

また参加者には、ごはん(棚田米)や鍋などの昼食付で、お楽しみ参加賞という特典もございます。

いろは島と大浦棚田を眺めながら、爽やかな風とともに歩いてみませんか。



【日時】 平成24年5月26日(土) 小雨決行

【集合場所】 唐津市肥前町満越886-3「ふれあい自然塾ひぜん」

【受付】 8:00 受付開始 9:00 スタート ～ 12:00 ゴール

【コース】 11.5km ※定員200名で締切

【参加料】 大人1,000円 小中学生500円(当日徴収)

【申込み・お問合せ先】 唐津市肥前支所産業課内
 肥前町棚田ウォーク実行委員会事務局
 〒847-1526 佐賀県唐津市肥前町入野甲1703
 TEL:0955-53-7145
 FAX:0955-54-2521
 E-mail: hizen-sangyou@city.karatsu.lg.jp



■ **ATAだより**

～ 修学旅行生の体験民泊受入中です ～

唐津市と玄海町で4月より、修学旅行生の体験民泊が行われています。今年は6月までに15校約2,600名の中学生の受入れを予定しております。

修学旅行生は民家に主に3～4名で宿泊し、家族の一員としてお世話になります。家業や家事のお手伝いをしたり、家族全員で食事など、人の優しさに触れて過ごす素晴らしい感動体験で

す。民泊以外にも、ヨット体験や農業体験といったエリアならではの体験プログラムが用意されており、修学旅行を通じて唐津市・玄海町の魅力に触れていただけるものになっています。

(社)唐津観光協会ATA事業部では、唐津・玄海体験型旅行受入推進協議会と連携を図り受入れ民家の募集をしています。修学旅行生と一緒に思い出づくりをしてみませんか。

【お問合せ】 唐津よかばい旅倶楽部
(社団法人唐津観光協会 ATA事業部)
TEL:0955-74-3611
FAX:0955-74-3612
URL:<http://www.yokabai-tabiclub.jp>



■唐津焼ものがたり

第38回

～ その⑮ 岸岳の土にこだわり受け継がれてきた窯
「岸岳窯三掃庵」(きしだけがまさんきあん) ～



「唐津焼に適した土がある」と先々代の富永米一氏が唐津焼発祥の地といわれる北波多に窯を開いて60年以上になります。

窯を受け継ぐ3代目の富永祐司氏は、土味の良さが特徴の北波多の土にこだわり、その土を活かす釉の使い方にも日々研究を重ねていらっしゃいます。

伝統的技術、技法で茶陶から日常食器まで幅広く製作されています。特に叩き作りの壺には力を入れているとお話される富永氏。

たっぷりとした釉がかかった朝鮮唐津や青唐津の壺は力強くもどこか繊細で富永氏の人柄が作品に映し出されているように感じました。

【お問合せ先:岸岳窯三掃庵】

《展示場》

住所: 唐津市北波多岸山154

TEL: 0955-64-2123

駐車場: 有

営業時間: 9:00～18:00

定休日: 年中無休

《工房》

住所: 展示場に隣接

TEL: 0955-64-2123

駐車場: 有

工房見学: 可



叩き作りの壺や茶器等が展示してある店内の一角



■食べごろ唐津、美味旬彩(13)

天然ラドンと豊富なミネラルを含んだまろやかでおいしい自然の水
～ ななやまの天然水 ～



天然ラドンと豊富なミネラルを含んだ
まろやかでおいしい自然の味



非加熱処理で水質の良さを生かして
います

写真提供：唐津市からつブランド推進課

ー 一口ごとに体の中からリフレッシュ！ ー

七つの山々に囲まれた、唐津市七山。

豊かな自然に恵まれた天然水は、天然ラドンやカルシウム、マグネシウムなどのミネラル成分を豊富に含んでいます。

採水地は、日本の滝百選の一つ「観音の滝」の麓で、地下深く300mから採取された水は、岩盤がフィルターになり、きれいでおいしい水になっています。

厚生労働省の9項目にわたる「おいしい水※」の要件もすべてクリアした正真正銘のおいしい水です。

（※「おいしい水」の要件…1990年～厚生労働省調査時の基準）

その基調な成分と、のど越しやわらかな味わいを大切に、非加熱殺菌方式でボトルリングしてお届けしています。

体を動かしたあとや汗を流したあとに飲むと、体内吸収の良さが時間でできると、スポーツをする方にも大好評。また、お酒を飲む時のお湯割り、水割りの割水（湯）に使うと、お酒がスツと入って悪酔いしないという方も多いようです。

【お問合せ】

株式会社 キコリななやま

TEL:0955-70-7177

FAX:0955-58-3130



最終検品は、人の手と目でしっかりと。



天然ラドンななやまの水は、受注後生産します。

写真提供：唐津市からつブランド推進課



■唐ワンくん日誌(32)

～ 唐ワンくんの情報源は唐ワンくんホームページ ～

よい子のみなさん こんにちは！

遂に、待望の「唐ワンくんのホームページ」ができました。

唐ワンくんの最新スケジュールやお知らせが続々と更新され、唐ワンくん情報が一目でわかるウェブサイトになっています。

唐ワンくんグッズが通販で購入できるページもあり、全国の唐ワンくんファンの方に喜んでいただけるラインナップです。



祝 唐ワンくん公式ホームページ完成

唐ワンくんのホームページは

こちら→ <http://karawankun.cart.fc2.com/>

気温の上昇と共に唐ワンくんもヒートアップ。4月も全開の唐ワンくんでした。



唐津神社でラリー選手と
安全祈願



熊本へ佐賀県観光PRを
くまモンと



雨にも負けず勝点3の
唐ワンくん

唐ワンくん情報がいっぱい「[唐ワンくんのブログ](#)」は

こちら→ <http://ameblo.jp/karawankun/>

●唐ワンくんおすすめ情報

～「唐津城で唐ワンくん」まいど(毎土)～

定期的に唐ワンくんに会えるイベントが開催されます。

毎週土曜日唐津城に唐ワンくんが登場します。唐津城に観光に訪れたお客様を、唐ワンくんがおもてなしします。唐津城に住んでいる設定の唐ワンくんが唐津城に登場する、という何とも不思議な内容ですが、定期的に唐津で唐ワンくんに会える企画です

5月・6月の毎週土曜日に①10時から②12時からの30分程度の登場を予定しております。気軽に唐ワンくんとふれあえる絶好の機会ですので、みなさんのお越しをお待ちしております。

【唐津城登場日】平成24年5月12日(土)から6月30日まで毎週土曜日

(5/12・5/19・5/26・6/2・6/9・6/16・6/23・6/30)

【時間】①10:00～10:30 ②12:00～12:30

【唐ワンくんがいる場所】唐津城中庭

【詳しくは】唐ワンくんホームページなど

<http://karawankun.cart.fc2.com/>



唐津城でまいど唐ワンくんです



唐津よもやま話

■唐津に嫁いだ若嫁日記(8)

～ 唐津城から見える景色～と、その戯言…

みなさん こんにちは。春うらら、あたたかい季節ですね。

先月号で、唐津城そばの電灯を掲載しました。
実はあの写真を撮った日、初めて唐津城の中に入りました。

展望室から東西にひろがる松原を見たい!と思っていたので、やっとこさ、その願いが叶いました。
曇りだったのが残念ですが…。

入るまで展望室のことで頭がいっぱいだったので、各階いろんな展示品があることに驚きました。

【展示内容】

※財団法人 唐津市文化振興財団より抜粋

- ・1階: 城址広場
(江戸時代の城下町ジオラマ・天守閣模型など)
- ・2階: 常設展示室
(唐津藩民政資料・唐津城関係資料)
- ・3階: 常設展示室
(古唐津コーナー)
- ・4階: 企画展示室
(全国の城(常設)・特別展示)
- ・5階: 展望室

展示品の写真撮影は禁止なので、お見せることはできませんが、個人的には、唐津焼きのコーナーが興味深かったです。

とても立派な焼き物から、なるほどーという使い方をする物など、さまざまでした。

さて、タイトルに付け加えている『戯言』ですが、展望室から虹の松原が広がる東側、上がぺたんと平らな山、なんだっけなと城内にあった案内板の写真を見返しながら、鏡山だということに気づき、こういう山の種類の名前地理で習ったような…と調べていると、答えではなく、違う面白い話を見つけました。

『鏡山ができたとき、上を切り取って海に置いたのが高島、その上を切り取ったのが鳥島という言い伝え。鏡山と高島はともに台形であり、見た感じの大きさも丁度よいものである。同様に、巨人が鏡山に躓いて転んだため怒り、頂上部を殴り飛ばしたことで高島などが出来たという。』

まるで日本昔話みたい!と、なんだか楽しくなりました。

このことを知って写真を見返すと、本当にそうなのかも!と覚えてしまいます。

もともと高島は海に浮かぶスイッチみたいに見えていたので、また新しい見方ができました。



唐津城北側。右端の島が高島、隣が鳥島。



謎の「みかんがついた兜のようなもの」

もう一つ気になったけれど、何だかわからなかったものがあります。

展望室から見た、まるで「みかんがついた兜のようなもの」。

誰か教えてください。。。



唐津城東側
中央右寄りの山が鏡山



唐津城西側



唐津城南側

いつも見ているものでも、人それぞれ何かの形に見えたり、鏡山のような言い伝えがあったり、おもしろいですよね。

是非、唐津城近くにお立ち寄りの際は、上まで登ってみてください♪

【住所】 唐津市東城内8-1

【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:40まで) ※季節により開館時間変更

【入場料】 大人400円 小人(4～14歳)200円 (20名様以上2割引)

【お問合せ】 唐津城 TEL:0955-72-5697



■JR唐津駅のガード下屋台めぐり(5)

唐津の屋台の歴史は昭和30年頃からはじまり、63年頃までは一般的な屋台のスタイルで営業されていました。現在では、14軒の屋台がJR唐津駅ガード下のガレージの中で営業しています。また、ガレージのシャッターには唐津くんちの14台の曳山の絵が描かれており、屋台が営業していない屋間の時間も観光客や市民の目を楽しませてくれています。

※特集で紹介した屋台 <http://www.karatsu-kankou.jp/karatsunmon059.html#00>

●旬の魚介を美味しく楽しめる屋台「つや」



駅側から9軒目
白い暖簾が目印の「つや」



カレイの煮付けやヤリイカの煮付けなど、
旬の魚介が美味しく楽しめる。

唐津駅側より9番目の屋台「つや」は、おでんやラーメンはもちろん、旬の魚介が美味しくいただける屋台です。唐津では最も歴史のある屋台で、再来年には開業50年を迎えます。

自慢の魚介は、唐津の台所として多くの料理人が利用する産栄市場で仕入れられており、その日の新鮮なものが店内に並びます。この日いただいた、ほんのり甘い風味のカレイの煮付けもとろけるような美味しさで、味付けの為の醤油には、こだわりの醤油を造る唐津の老舗「マツキン醸造」のものを使用されているそうです。

ヤリイカの煮付けは風味豊かでピリリとした辛さの自家製柚子胡椒いただきます。

油抜きしてあるあっさりとした豚骨スープが人気のラーメンには、2時間以上に込んだこだわりのチャーシューがトッピングされており、スープとやや細めの麺との絡みも良く、お酒を飲んだあとでも最後まで美味しくいただけます。スープをとるときに使う豚骨の中には豚足も入っており、長時間トロトロに煮込まれた豚足が1日限定5～6本の「裏メニュー」として提供されています。このトロトロの豚足を目当てにいらっしゃる女性の常連さんも多いそうです。

じっくり煮込まれたおでんのネタでは、野菜たっぷりの手作りのロールキャベツも「つや」自慢の逸品です。

新鮮な魚介やこだわりの料理が味わえる屋台「つや」で、楽しいひと時を満喫されてみてはいかがでしょうか。



あっさりとした豚骨スープが人気の
ラーメンと「裏メニュー」の豚足



じっくり煮込まれたおでん 野菜
たっぷりの手作りのロールキャ
ベツも「つや」自慢の逸品



《つや》

【営業時間】18:00～4:00

【定休日】日曜日・月曜日



経営者の娘さんで店長の浦詩子さん



新鮮な魚介とこだわりの料理で、会話もお酒もすすみます。



旬の貝料理やシューマイなどの一品料理も楽しめる。

《屋台一覧》

店名	シャッターの 曳山の絵	TEL 市外局番(0955)	営業時間	店休日	おすすめ①	おすすめ②	おすすめ③	
みよこ	赤獅子	-----	18～4時	水	鯨	カレー	ちゃんぽん	
やまちゃん	青獅子	73-0433	18～4時	日・月	餃子	ちゃんぽん	焼そば	
かわい	亀と浦島太郎	75-4116	18:30～3時	火	豚足 (炭火焼)	カレー	串もの (炭火焼)	
まるわ	源義経の兜	-----	休業中					
よしこ	鯛	74-7476	18～4時	月	お好み焼き (そば入り)	ホルモン 炒め	そば飯	
よかろう	鳳凰丸	090-8915-6429	18～4時	水・木	コロッケ	季節の魚	ラーメン	
さなえ	飛龍	090-8838-4427	19～4時	水・ 第1,3木	味噌 ラーメン	カレー	牛すじ ポイル	
さかえ	金獅子	090-5299-2980	18～4時	不定休	カレーちゃん	もつ鍋	日替弁当	
つや	武田信玄の兜	-----	18～4時	日・月	魚介類	ラーメン	おでん	
しげ	上杉謙信の兜	-----	18～4時	不定休	たこ焼き (ソース)	たこ焼き (ネギ塩)	たこ焼き (タシ)	
念	酒呑童子と 源頼光の兜	090-2715-2300	21～4時	不定休	タイピーエン	ラーメン	焼飯	
きみがよ	珠取獅子	74-6645	18～4時	月	皿うどん	味噌ラーメン	コロッケ	
とうげん	鯨	080-3906-0876	11～4時	不定休	串カツ	肉カスうどん	ステーキ	
いこい	七宝丸	75-0051	18～4時	不定休	煮込み 大手羽	魚介類	ラーメン	



発行：社団法人唐津観光協会

〒847-0816 唐津市新興町2935-1 JR唐津駅内

電話番号：0955-74-3355 FAX番号：0955-74-3365

URL：<http://www.karatsu-kankou.jp/>

ページの上部へ↑

